

神戸観光局 NEWS LETTER vol.18 (2023.3.8)

CONTENTS

- P.1 ペットフレンドリーな街・神戸でペットとお出かけ！
- P.2 南京町春節祭が3年振りの本格開催
今回のアニメツーリズムは人気RPGシリーズとのコラボ
- P.3 新たな教育旅行誘致ツール
首都圏誘客プロモーション
- P.4 福岡・東京商談会を開催！
東京駅で「週末サクッと神戸姫路旅」を開催！
- P.5 海外現地の状況

- P.6,7 神戸フィルムオフィス通信
- P.8 国内・国際MICEの動きは活発。
商談会参加で神戸誘致。
国際コンベンション「Techno-Ocean 2023」の開催に向けて
- P.9,10 クルーズ船の運航情報
- P.11,12 神戸港の灯台【コラム】
- P.13 神戸観光局会員紹介コーナー
- P.14 令和4年度LINK Cafeセミナー
ひょうご1dayゴルフパーク in 神戸ハーバーランドumie



ペットフレンドリーな街・神戸でペットとお出かけ！

「ペットと旅するKOBЕ」愛するペットと神戸へお出かけ！

自然と都市が共存する神戸は、短い移動距離で「海・街・山」のアクセスが容易で、ペットツーリズムに大きな可能性を持ったエリアです。大切な家族の一員である、ペットと一緒に旅行に行くニーズが高まっている中、ペットフレンドリーな街としての取組を実施しています。

神戸公式観光サイト「Feel KOBЕ」内の「ペットと旅するKOBЕ」では、ペットフレンドリーなスポットを多数紹介。自然をたっぷり満喫できる公園やドッグラン、愛犬と一緒に乗れるクルーズ船、ペットOKの異人館やカフェ・ホテルなどを掲載しています。

地図でまとめた冊子も公開、市内観光案内所にて設置・配布中です。（※「Feel KOBЕ」でもチェックできます）

◆HP：https://www.feel-kobe.jp/travel_with_pets/

「おでかけわんこ部」によるインスタ&WEB配信を開始

リアルな情報発信を得意とするメディアでマップやモデルコースの紹介をしています。

◆HP：<https://odekake-wanko-bu.com/feel-kobe-pet/>



Instagram投稿キャンペーンの実施（期間：2023年2月1日～3月15日）開催中！

愛犬と一緒に神戸の観光スポットに訪れてInstagramに写真を投稿、宿泊券や限定グッズなど豪華賞品をプレゼント。「神戸らしさ」いっぱいの素敵な写真が集まっています。

◆HP：<https://dog.benesse.ne.jp/withdog/content/?id=143745>

街と自然、どちらも魅力いっぱいの神戸に、ぜひ、ペットと一緒に出かけ
てみてください！



南京町春節祭が3年振りの本格開催

ステージイベント、獅子舞による採青（祝儀とり）も復活し、盛大に開催！

3年振りの本格開催となった南京町春節祭。初日のステージは瞬時に仮面の顔が変わる変臉（へんれん）からスタート！楊貴妃や項羽、虞姫など歴史上の武将や姫の装いで街を練り歩く中国史人游行も少人数ながら復活しました。最終日のラストステージは獅子4頭が登場！4日間の開催期間中、延べ約15万人の来場で大いに賑わいました。

【2023南京町春節祭】

◆期間：1月22日(日)、27日(金)～29日(日)

◆場所：南京町及び周辺地域

◆HP：<https://www.nankinmachi.or.jp/event/shunsetsu/>

- ・中国獅子舞や中国舞踊、中国音楽など迫力満点のステージ
- ・旅行券やホテル宿泊券などの豪華賞品が当たる、ハズレなしの「ポチ袋くじ」
- ・ポチ袋を持参すると、近隣の様々な観光施設や飲食店等で割引を受けられるキャンペーンも実施
- ・お守り、おみくじ、参拝用線香の販売
- ・剪紙の実演販売、占い
- ・中国史人游行
- ・南京町の各店で春節祭ならではのお得な「迎春餐&福袋」
- ・獅子舞採青（祝儀とり）



↑3年振りのステージは変臉から



↑ラストステージには獅子4頭が登場！

今回のアニメツーリズムは人気RPGシリーズとのコラボ **開催中!**

「『ペルソナ』シリーズ×神戸観光局 Journey to KOBE」が開催中！

2月18日(土)より、アニメツーリズムの一環として累計売上本数1,500万本突破の『ペルソナ』シリーズにおける主力作品「ペルソナ3～5」と神戸観光局のコラボレーションキャンペーンがスタート！

独特のビジュアルやストーリーが国内外で高く評価され、ゲームを中心に、アニメ等様々な作品やシリーズが展開されている『ペルソナ』シリーズ。市内飲食店とのコラボや謎解きARスタンプラリーなど神戸の美しいロケーションや、グルメも楽しんでいただく企画です。

Twitterのキャンペーンアカウントで発表した開催決定情報のツイートのインプレッションが59万を超えるなど、大きな注目を集めています。また、開催初日は飲食店コラボの特典が早々に無くなる店舗やグッズも売切れアイテムが出るなど、反響の大きさに驚きました。

キャンペーンは、3月31日(金)まで開催中です。

【『ペルソナ』シリーズ×神戸観光局 Journey to KOBE】

◆期間：2月8日(土)～3月31日(金)

◆場所：神戸市中央区を中心とした地下鉄沿線

◆HP：<https://www.hyoda.com/kobe-persona/>

- ・専用アプリを使用したデジタルスタンプラリー、クイズラリー、フレーム写真
- ・飲食店コラボ（17店舗）
- ・コンチェルトでのプレミアム船上ライブ
- ・モザイク大観覧車でのメッセージ表示
- ・限定グッズの販売
- ・市営地下鉄コラボ（オリジナル1日乗車券販売、オリジナルポスター掲出）



©ATLUS ©SEGA All rights reserved.

『KOBE SDGs探究プログラム』の開発

KOBE SDGs探究プログラムの概要

神戸を代表する企業や公共施設、大学、ボランティア団体等、全32団体の協力のもと神戸オリジナルの産官学連携による充実した『29プログラム』を開発しました。

各団体のSDGsの取り組みを学ぶだけでなく、自分自身で学習のテーマを設定し、体験で得た知識を参考にさらに考察を深め、生徒の主体性を引き出す探究型プログラムとなっています。

各プログラムの受け入れ人数は最低でも1バス（30～40人）が可能でテーマ別やグループ別といった分散型の旅行に適應しています。

URL : https://www.feel-kobe.jp/app/wp-content/uploads/2023/01/kobe_SDGs_programs.pdf



(株) アシックス	楽天ヴィッセル神戸 (株)	NTT西日本兵庫支店
外来生物展示センター	苅藻島グリーンセンター	川崎重工業 (株)
早駒運輸 (株)	菊正宗酒造 (株)	神戸空襲を記録する会
(株) 神戸クーラー	神戸大学	神戸どうぶつ王国
(株) 神戸酒心館	神戸新開地・喜楽館	(株) 神戸製鋼所
神戸バイクルーズ (株)	(株) 神戸ポートピアホテル	(株) 神戸マツダ
(株) G-7ホールディングス	神戸紅茶 (株)	シスメックス (株)
(株) ノーリツ	ネスレ日本 (株)	萩原珈琲 (株)
白鶴酒造 (株)	東灘処理場 (下水処理場)	兵庫ダイハツ販売 (株)
兵庫トヨタ自動車 (株)	(株) フェリシモ	フジッコ (株)
麻醉博物館	国際くらしの医療館・神戸	

首都圏誘客プロモーション **COMING SOON**

品川駅デジタルサイネージ44面で、神戸観光PR動画を一挙放映！ 神戸観光プロモーション「いろいろ、神戸！」を実施します！

国内外ともに旅行意欲が高まる春・夏に向けて、全国からの観光客が行き交うJR品川駅にて、神戸観光プロモーション「いろいろ、神戸！」を2023年3月13日(月)より実施します。



放映イメージ

デジタルサイネージでの観光PR動画の放映

2023年3月13日(月)～2023年3月26日(日)にかけて、品川駅自由通路にてデジタルサイネージを使用した、神戸観光PR映像コンテンツの放映を実施します。神戸らしい10個のテーマについて、1本ずつ映像を作成。春の訪れを感じさせる、華やかなデザインで、品川駅を彩り、神戸を訪れたいくなる気持ちを誘います。



1面1面違う素材を投影しながらも、華やかな色合いで統一。目を引くデザインとなるよう工夫しました。

品川駅駅構内イベントスペースでの観光プロモーション

2023年3月18日(土)～2023年3月21日(火)の4日間、JR品川駅中央改札内のイベントスペースを使用し、観光PRイベントを実施します。期間中は、有馬芸妓や観光親善大使による神戸観光のPRに加えて、神戸スイーツや日本酒などの、神戸の特産品を集めた物販も実施します。また、BE KOBEのミニモニュメントやポートタワーパネルも設置し、色とりどりの神戸の魅力をお楽しみいただけます。



↑ブースは神戸タータンでの装飾や、ミニBE KOBE モニュメントの設置など、神戸らしさ全開でPRします。

福岡・東京商談会を開催！

昨年度より多くの旅行会社様、観光事業者様と共に盛大に開催。

姫路観光コンベンションビューローと、2023年1月20日(金)に福岡で、2月17日(金)に東京にて「神戸・姫路観光素材説明会&商談会」を開催し、旅行会社様・観光事業者様ともに、昨年度よりも多くのご参加をいただきました。

今年度は、観光事業者様のPRされたい項目と、旅行会社様の担当業務を事前に共有にし、お互いが求めている情報を提供しやすい仕組みづくりを行いました。

また、福岡では、コロナ感染対策を徹底したうえで、3年ぶりに懇親会も開催することができ、神戸・姫路の地酒もお楽しみいただきながら、それぞれの繋がりを強くしていただく時間になったかと思います。

限られた時間の中ではありましたが、実際に旅行商品に結び付いたといった話も聞き、今年度の感想等もヒアリングしながら、来年度の開催も検討していきます。



福岡商談会様子



懇親会の様子



提供した日本酒



東京商談会様子



観光素材説明



観光素材説明

東京駅で「週末サクッと神戸姫路旅」を開催！

東京駅八重洲コンコースにて体験型観光プロモーションを実施しました。

首都圏プロモーションの一環として、姫路観光コンベンションビューローと共同で、2023年2月18日(土)に、「週末サクッと神戸姫路旅」体験型観光プロモーションイベントを実施しました。

東京駅八重洲口のイベントスペースには、1泊2日のモデルコースを紹介する展示パネルを設置し、豪華な賞品があたるガチャ抽選会も実施しました。また、スマイル神戸や姫路お城の女王の出務もあり、お客様の呼び込みや、写真撮影に対応いただき、インバウンドのお客様も含めて、500名以上の方にご来場いただくことができました。複数のメディアにも取り上げていただき、神戸・姫路の近さや魅力を伝える、充実したイベントになりました。



イベントスペースの外観



フォトスポットも用意



のぞき見体験



ガチャ抽選会

タイ・インドネシアで開催された訪日旅行博に出展！

タイ バンコクにて開催の「第14回 FIT フェア」(2023年1月27日～29日)、およびインドネシア ジャカルタにて開催の「Japan Travel Fair 2023」(2月3日～5日)にブース出展を行いました。それぞれ両市場において最大規模を誇る訪日イベントで、コロナ禍による中止を経て、数年ぶりのリアル開催となりました。タイについては来場者数は約5万1千人と、2019年度の来場者数と同等の数値となり、来訪者の熱心な情報収集の姿勢も含め、当地における訪日旅行ニーズの高まりを感じさせる状況でした。インドネシアは約4万人(2019年比 - 18%)の来場者でした。



タイ旅行博の様子

ブースではそれぞれの言語での神戸観光パンフレットの配布や、訪神を検討する来訪者に対してコンサルティングを行いました。来訪者の興味関心としては「神戸ビーブ」がもっとも高く、ほか「六甲山」「有馬温泉」についても、アクセス方法をはじめとして多くの質問が寄せられました。また「átoa(アトア)」、「六甲山アスレチックパークGREENIA」などのコロナ禍にオープンした最新スポットの情報提供にも注力。ほかムスリムが多いインドネシアにおいては、神戸観光局で新たに作成した「ムスリム向けガイドブック」を配布し、神戸ムスリムモスクや礼拝所、ハラール料理店の紹介を行いました。



インドネシア旅行博の様子

神戸海外観光ネットワーク拠点設置国の状況(2月末時点)

台湾



【アフターコロナ】2022年10月13日の台湾政府による水際対策緩和により、事実上海外旅行が2年半ぶりによく解禁されました。解禁後ここ数ヶ月の訪日旅客層を見てみると、団体旅行ではなく、10人前後の手配型ミニツアーや、2023年4月以降の社員旅行やインセンティブツアーや、また健康状態の不安が比較的少ない若年層・中年層がメインとなっているほか、航空料金の高騰や国内旅行割による宿泊費高騰が円安によるメリットを相殺してしまっていることから、ある程度経済的に余裕のある層が中心となっています。また、台湾政府は12月10日より、水際対策として実施している入国者の人数制限について上限を撤廃しました。

フランス



【旅行意識】2022年10月から自由に日本に旅行できるようになり、どの旅行会社も問い合わせが殺到、2022年11月の販売数調査では2019年と比較すると状況は改善していますが、一人あたりの旅行予算が増加し、旅行者数が減少していることから、旅行できる人とできない人の二極化が続いている状況でした。そんな中、保険当局は2023年2月から新型コロナウイルス対策が大幅に緩和し、これまで義務づけていた感染者の隔離不要・濃厚接触者の特定も行わないことになりました。

映画『シン・仮面ライダー』3月17日(金)より公開！

『シン・ウルトラマン』の企画・脚本を手掛けた庵野秀明氏が、満を持して監督として製作された『シン・仮面ライダー』、実は神戸の須磨ベルトコンベアトンネルでも撮影されています。

といっても、CGでかなり加工されていますので、スクリーンに登場するのは、現状のものではありません。ですが、庵野監督の手によってどのように“創造”されているのか、逆に楽しみです！悪と闘うアクションシーンの場所として出てきますので、ぜひ劇場でご覧ください。

◆映画『シン・仮面ライダー』

- ・公開日：2023年3月17日(金)～
- ・監督：庵野秀明
- ・出演：池松壮亮、浜辺美波、柄本佑 ほか
- ・市内の公開劇場：OS シネマズミント神戸、OSシネマズ神戸ハーバーランド、109シネマズHAT神戸
- ・ロケ地：須磨ベルトコンベアトンネル
- ・HP：<https://www.shin-kamen-rider.jp/>



©石森プロ・東映/2023「シン・仮面ライダー」製作委員会

映画『わたしの幸せな結婚』3月17日(金)より公開！

顎木あくみによる大ヒット和風ファンタジー小説を、映画単独初主演となる「Snow Man」の目黒蓮と映画版「東京リベンジャーズ」の今田美桜共演で映画化。明治・大正期を彷彿とさせる架空の世界を舞台に、心を閉ざしたエリート軍人と、家族に虐げられて育った少女の政略結婚から始まる異色のラブストーリーです。神戸では、昨年2月に兵庫県公館で、主人公たちが鶴木家を訪ねるシーンが撮影されました。

◆映画『わたしの幸せな結婚』

- ・公開日：2023年3月17日(金)～
- ・監督：塚原あゆ子
- ・出演：目黒蓮 (Snow Man) 今田美桜 ほか
- ・市内の公開劇場：OS シネマズミント神戸、OSシネマズ神戸ハーバーランド
- ・ロケ地：兵庫県公館
- ・HP：<https://watakon-movie.jp/>



©2023 映画『わたしの幸せな結婚』製作委員会

映画『自分革命映画闘争』3月18日(土)より公開！

『パンク侍、切られて候』（2018年）以来、5年ぶりとなる石井岳龍監督最新作が遂に劇場公開。神戸芸術工科大学での映画創作研究活動の集大成にして、原点たるハードコア精神に立ち返った石井岳龍最大の問題作にして怪作が遂にベールを脱ぐ！神戸では、2020年から新型コロナウイルス流行の影響で度々中断を余儀なくされながらも、ベルトコンベアトンネルや市営地下鉄学園都市駅などで撮影されました。

◆映画『自分革命映画闘争』

- ・公開日：2023年3月18日(土)～
- ・監督：石井岳龍
- ・出演：神戸芸術工科大学・映画コース関係者有志
- ・市内の公開劇場：元町映画館
- ・ロケ地：落合中央公園、ベルトコンベアトンネル、神戸市営地下鉄学園都市駅、神戸芸術工科大学 ほか
- ・HP：<https://jibunkakumei.brighthorse-film.com>



©ISHII GAKURYU

NHK BSプレミアムドラマ『グレースの履歴』3月19日(土)より放送開始！

日本各地を車で旅する中で「妻の真相」と「夫の過去」が次第に浮き彫りにされていくロードムービー&ミステリー。往年の名女優グレース・ケリーと伝説のエンジニアのエピソードを乗せて、人々に引き継がれていく名車の存在は、夫の人生に意外な展開を及ぼしていく。神戸のロケ地は、なんとモナコの別荘という設定で旧乾邸が、また、温泉旅館の玄関として蘇州園が登場します。



- ◆NHK BSプレミアムドラマ『グレースの履歴』
- ・放送：2023年3月19日(日)22:00放送スタート（全8回）
- ・原作・脚本・演出：源孝志
- ・出演：滝藤賢一、尾野真千子、宇崎竜童 ほか
- ・ロケ地：旧乾邸、蘇州園
- ・HP：<https://www.nhk.jp/p/ts/88ZGN5PJ1Q/>

テレビ朝日『キッチン革命』3月25日(土)・26日(日)2夜連続放送！

戦前から戦後にかけての激動期、日本の台所を変えた実在の2人の女性をモデルにした2夜連続のスペシャルドラマ。

第1夜は、計量スプーンを考案し、あらゆる家庭で豊かな食生活が営めるよう、現代でいうレシピ＝“料理カード”を作った女性医師・香美綾子（葵わかな）の奮闘。第2夜は、台所に光り輝くステンレスのダイニングキッチンを導入した日本初の女性建築家・浜崎マホ（伊藤沙莉）の改革。

神戸のロケ地は、香美綾子さんが働く大学病院として神戸大学が、浜崎マホさんの実家の外観として太田酒造貴賓館が登場します。

- ◆テレビ朝日『キッチン革命』
- ・放送：2023年3月25日(土)・26日(日) 2夜連続（時間未定）
- ・監督：豊島圭介
- ・出演：葵わかな、伊藤沙莉、林遣都 ほか
- ・ロケ地：神戸大学 六甲台本館、兼松記念館、太田酒造貴賓館
- ・HP：https://www.tv-asahi.co.jp/kitchen_kakumei/



映画『Village』4月21日(金)より公開！

映画『新聞記者』などで知られる俊英、藤井道人監督が日本の【村】とそのなかに潜む【闇】をテーマに描く『Village』。神戸でも主人公（横浜流星さん）が勤めるゴミ処理施設という設定で、西クリーンセンターで撮影が行われました。小学生が社会見学に来るといったシーンもあり、現場は常に和やかな雰囲気でした。

ぜひ劇場でご覧ください。

- ◆映画『Village』（配給：KADOKAWA／スターサンズ）
- ・公開日：2023年4月21日(金)～
- ・監督：藤井道人
- ・出演：横浜流星、黒木華 ほか
- ・市内の公開劇場：109シネマズHAT神戸、OSシネマズ神戸ハーバーランド
- ・ロケ地：西クリーンセンター
- ・HP：<https://village-movie.jp/>



© 2023 「ヴィレッジ」製作委員会

国内・国際MICEの動きは活発。商談会参加で神戸誘致。

2月に開催されたAIME (@メルボルン)、IME (@東京) 商談会に参加しました

コンベンションビューローでは、2月13日～15日までオーストラリアのメルボルンにて開催されたAIME、そして2月16日に東京で開催された国際MICEエキスポ(IME)と、2つの商談会に参加しました。いずれも商談枠がほぼ埋まり、神戸に興味を持っていただいているバイヤーが多かった印象でした。

●AIME(メルボルンにて開催) — 2月13日～15日

- ・セラーは400人、バイヤーは2,000人参加(発表予定数)
- ・全体で1万2000件の商談数、神戸は3日で28件の商談
- ・インセンティブツアーの相談がほとんど
- ・神戸は3回目、現地参加は4年ぶり2度目の参加
- ・アジアの団体はすぐ(3月、4月)に日本に来たいが、ホテルがなかなか取りにくいことがある

●IME(東京にて開催) — 2月16日

- ・73自治体が参加。神戸は1日で14件の商談
- ・商談相手はこちらでハンドリング不可
- ・国際MICEエキスポではあるが、参加はほとんど日本人
- ・商談会では学会案件が多かった
- ・情報収集ではなく具体的な内容が決まっているものが多いが、開催が数年先のものが多い



AIMEの日本ブース

商談会では海外バイヤーから「日本はいつも同じ場所や内容の提案が多いので、もっと新しい情報が欲しい」とのリクエストも数件聞かれました。学会、会合やインセンティブツアーも多く動いており、海外からの参加者も市内にかなり戻ってきています。神戸でお迎えする側の私たちは発見のある新たな提案、柔軟な対応ができるようにアップグレードが求められています。有益な情報がありましたら、ぜひ私どもにも共有をお願いします。

《既存の英語版に加えて、フランス語、ドイツ語バージョンのプロモーションビデオも制作しました》

海外での営業、商談時などの神戸紹介動画としてお使いいただけます。ご利用希望の場合はご連絡ください。

<https://kobe-convention.jp/ja/promotion-tools/videos/>

国際コンベンション「Techno-Ocean 2023」絶賛準備中！

海と出会い、つながる。海洋の魅力に触れる3日間へ！乞うご期待！

テクノオーシャン・ネットワーク(事務局：(一財)神戸観光局内)では、今年10月5日(木)～7日(土)にかけて、神戸国際展示場にて開催予定の「Techno-Ocean 2023」に向けて準備を進めています。

1986年に神戸で始まった海洋分野における国際コンベンション「Techno-Ocean」。国内外の海洋関係者が一堂に会するこのコンベンションは、今回で19回目の開催を迎えます。

今回は「海のSDGs」をテーマに、産学官関係者による討論、展示会、水中ロボット競技会などを同時開催し、分野をまたいで「海に関わるすべての人」をつなぎます。

また、海への興味と理解を深めていただけるようなセミナーや船の一般公開も開催予定で、市民の皆様にも大いに楽しんでいただけるイベントです！

1月29日(日)には、兵庫県下のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校を中心に、27校・約1,100名の高校生が集った「第15回サイエンスフェアin兵庫」に出展し、「Techno-Ocean 2023」のPRを行いました。若い世代の皆さんも興味津々。皆さんの熱心な関心を目の当たりにし、開催に向けてますます意気込みが高まっています。より多くの方々にお越しいただき、海の魅力を楽しんでいただけるよう、引き続き取り組んでまいります。どうぞお楽しみに！



第15回サイエンスフェアin兵庫の様子

<Techno-Ocean 2023>

- ・開催テーマ：海をいかす～Sustainable Utilization of Ocean～
- ・日時：2023年10月5日(木)～7日(土)
- ・会場：神戸国際展示場2号館等
- ・主催：テクノオーシャン・ネットワーク(事務局：(一財)神戸観光局内)
- ・「Techno-Ocean 2023」Webサイト：<https://to2023.techno-ocean.com/>



to2023.techno-ocean.com

クルーズ船の運航情報

神戸港での国際クルーズ受け入れを再開！ 神戸港初入港船も入港します！

新型コロナウイルスの影響で、港における入国規制を実施したことから、海外のクルーズ船が国内に入港できない状況となっていました。令和4年10月に政府の水際対策が緩和されたことを受け、神戸港では3月より3年ぶりとなる国際クルーズの受け入れを再開します。運航再開にあたっては、国土交通省が監修したガイドラインに基づき安全対策が実施され、安心して楽しめる船旅が始まります。各船社の安全対策を確認し、検疫をはじめとする関係機関と連携しながら受け入れ準備を進めています。

3月から4月にかけては、21隻ものクルーズ客船の入港が予定されており、中でも「SEVEN SEAS EXPLORER」「PACIFIC WORLD」「SILVER MUSE」「STAR BREEZE」については、神戸港への初入港を予定しております。神戸港では同船を含め、寄港するクルーズ客船の入出港にあわせた歓送迎イベントを予定しております。「みなとまち神戸」ならではの客船のある風景を楽しみに、ぜひ神戸港へお越しください。

また、客船寄港時には、たくさんの乗船客等が神戸の観光に訪れます。神戸港では、おもてなしと歓迎の一環として、クルーズターミナルと商業地を結ぶシャトルバスの運行や、おもてなしコンシェルジュによる観光案内など、神戸を快適に楽しく過ごしていただけるよう取り組んで参ります。

クルーズ客船入港予定（3月・4月） **COMING SOON**

船名	総トン数	バース	入港		出港	
にっぽん丸	22,472	S-4Q1	3月1日(水)	9:00	3月1日(水)	13:00
DIAMOND PRINCESS	115,906	S-4Q1/Q2	3月8日(水)	7:00	3月8日(水)	19:00
初 SEVEN SEAS EXPLORER	55,254	NAKA-BC	3月11日(土)	8:00	3月12日(日)	15:00
WESTERDAM	82,862	S-4Q1/Q2	3月15日(水)	12:00	3月16日(木)	23:59
SEVEN SEAS EXPLORER	55,254	NAKA-BC	3月16日(木)	12:00	3月17日(金)	17:00
NAUTICA	30,277	NAKA-BC	3月20日(月)	7:00	3月20日(月)	19:00
NAUTICA	30,277	NAKA-BC	3月25日(土)	12:00	3月26日(日)	18:00
EUROPA 2	42,830	S-4O1/O2	3月30日(木)	7:00	3月31日(金)	23:59
AZAMARA QUEST	30,277	S-4Q1/Q2	3月30日(木)	8:00	3月31日(金)	13:30
SEVEN SEAS EXPLORER	55,254	NAKA-BC	3月30日(木)	12:00	3月31日(金)	17:00
SILVER WHISPER	28,258	NAKA-BC	4月1日(土)	7:00	4月1日(土)	18:00
NAUTICA	30,277	NAKA-BC	4月4日(火)	12:00	4月5日(水)	18:00
初 PACIFIC WORLD	77,441	S-4Q1	4月8日(土)	14:00	4月8日(土)	23:00
SILVER WHISPER	28,258	S-4Q1/Q2	4月11日(火)	7:00	4月11日(火)	18:00
初 SILVER MUSE	40,791	S-4O1/O2	4月12日(水)	7:00	4月12日(水)	23:00
WESTERDAM	82,862	S-4Q1/Q2	4月12日(水)	9:00	4月12日(水)	21:00
SEVEN SEAS EXPLORER	55,254	NAKA-BC	4月13日(木)	12:00	4月14日(金)	17:00
AZAMARA QUEST	30,277	S-4Q1/Q2	4月14日(金)	8:00	4月15日(土)	13:30
SILVER WHISPER	28,258	NAKA-BC	4月21日(金)	13:00	4月22日(土)	18:00
初 STAR BREEZE	12,969	S-4O1	4月26日(水)	7:00	4月26日(水)	19:00
SEVEN SEAS EXPLORER	55,254	NAKA-BC	4月27日(木)	11:00	4月28日(金)	18:00

神戸ポートターミナル：S-4Q1/Q2、S-4O1/O2

中突堤旅客ターミナル：NAKA-BC

※スケジュール・バース等は予告なく変更・追加されることがありますのでご注意ください。

※神戸港へのクルーズ客船の入港予定や歓送迎イベント予定は、「神戸市ホームページの客船入港予定」をご覧ください。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a14075/kanko/leisure/harbor/passenger/schedule/index2020.html>

クルーズ船の運航情報

クルーズ客船入港予定（3月・4月） 初入港船の紹介

SEVEN SEAS EXPLORER セブシーズエクスプローラー 船社/リージェント セブシーズクルーズ



総トン数
55,254トン
全長
224.02m
船籍
マーシャル諸島

PACIFIC WORLD パシフィック・ワールド 船社/ジャパングレイス



総トン数
77,441トン
全長
261.31m
船籍
パナマ

SILVER MUSE シルバー・ミューズ 船社/シルバーシー・クルーズ



総トン数
40,791トン
全長
212.80m
船籍
バハマ

STAR BREEZE スター・ブリーズ 船社/ウインドスター・クルーズ



総トン数
12,969トン
全長
159.40m
船籍
バハマ

ありがとう「ぱしふいっくびいなす」神戸港から最後の離岸

日本クルーズ客船株式会社が運航するクルーズ客船「ぱしふいっくびいなす」が営業運航を終了しました。24年の長きに亘って広く愛され、神戸港に笑顔を送り続けてくれたフレンドシップ。そのラストクルーズのはじまりから、たくさんのお客様に見送られた最後の出港まで、美の女神Venusの名前に相応しい場面の数々をご紹介します。

2022年12月27日(火) ラストクルーズへ出航

大勢のぱしびファンや元クルーの方々が詰めかける中、神戸市消防音楽隊のファンファーレを合図に、最終航海出港セレモニーが始まりました。神戸港から記念品と花束が贈られ、松井克哉船長からご挨拶がありました。

いよいよ出航が近づき、神戸の親善大使第17期スマイル神戸の谷口優月さんも笑顔で花を添えます。出航の時を告げる銅鑼と汽笛が響き渡ると同時にサプライズ花火が打ち上がり、ニューイヤークルーズへ向け出航しました。



2023年1月4日(水) 最後の神戸港入港

ぱしふいっくびいなす683回目の神戸港入港を出迎える方々が集まる中、神戸市消防艇からの歓迎放水がアーチを描きました。また、ターミナルでは神戸市立須磨翔風高校和太鼓部のみなさんが新春らしく和太鼓の演奏で帰港を迎えました。下船時には、クルーの皆さんが一斉に船からターミナルへ移動して整列され、お客様ひとりひとりと言葉を交わされていました。24年間の深さを感じる笑顔と涙が印象的な瞬間でした。

2023年1月6日(金) さようなら、またいつか神戸港で

これまで何度も出航の場面に立ち会って演奏してくれた神戸市消防音楽隊が、この日も演奏で見送ってくれました。コロナ禍で長らく控えられていたテープセレモニーも今日だけは特別に再開。乗船のクルーから思いの詰まった色とりどりのテープが投げられ、船と岸壁をつないでいました。

また、最後の出航を海から見送る特別企画「お別れ見送りクルーズ」も実施され、参加者を乗せた神戸港遊覧船「boh boh KOBE」号がぱしふいっくびいなすの旅立ちを船上から見届けました。

出港時には、汽笛と共にぱしふいっくびいなすカラーの風船600個が空へと舞い上がり、「錨をあげて」の演奏が流れ、ターミナルデッキと「boh boh KOBE」号からたくさんのUW旗（航海の安全を祈る意味の国際信号旗）がいっそう強く打ち振られ、最後の出航を見送りました。

西洋式灯台のはじまり

日頃、皆様がご覧になられている灯台は「西洋式灯台」です。日本の西洋式灯台は、徳川幕府が1866（慶応2）年に米、英、仏、蘭の4か国と結んだ改税約書（江戸条約）と兵庫開港に備え1867（慶応3）年に英国と結んだ大坂約定（大坂条約）によって設置された13基の「条約灯台」から始まります。そもそも灯台の役割は、船舶の安全な航海を導く道標で、島や岬、岩礁、港の出入口等に設置されています。灯台の色や光り方（灯質）には様々な種類があって、同一視界内（見渡せる範囲内）には同じ灯質の灯台はありません。そのため、見えている灯台の灯質と船の概略の位置から見えている灯台が海図（航海で使用する地図のようなもの）や灯台表（灯台の位置（緯度経度）や灯質、高さ、光が届く（光達）距離などが記載されている書誌）から分かり、複数の灯台の見える方位をもとに船の現在位置を知ることができ、船が航海計画通りに進んでいるか、陸岸や岩礁などに接近していないかを確認することができます。灯台は夜間の燈光のみならず昼間でもその姿が目印になっています。

それでは神戸港の代表的な灯台を3基ご紹介します。



日本初の西洋式灯台
初代「観音埼灯台」

【神戸灯台】

神戸灯台は、和田岬の西南西約1.7kmの遠矢浜（北緯34度38分54秒 東経135度10分05秒）に建つ灯台で、紀淡海峡（友ヶ島水道）を北上し、淡路島の洲本沖から神戸港に向かう船が針路の目標とする灯台です。

神戸灯台の歴史は古く、1872年10月1日（明治5年8月29日）に点灯した（初代）和田岬灯台が起源です。（初代）和田岬灯台はイギリス人技師リチャード・ヘンリー・ブランTONの技術指導により、民部省（民政事務を専管する明治初期の官庁）によって設置された木造八角形の灯台です。その後、1884（明治17）年3月1日に鉄造六角形の2代目（現在、須磨海岸で保存）に改築され、1963（昭和38）年10月15日には、現在の円形コンクリート造白色の神戸灯台に改築されています。

高さ29m（灯高26m）の神戸灯台から8秒毎に発せられる白色の光（閃光）は15海里（約28km）先まで届き、今日も神戸港に向かう多くの船の安全な航海をサポートしています。



二代目「和田岬灯台」



現在の「神戸灯台」※

標識名称	神戸灯台
所在地	兵庫県神戸市（和田岬の西南西方約1.7km）
点灯年月日	明治5年8月29日（1872年10月1日）
灯質	単閃白光 毎8秒に1閃光（8秒毎に白色の短い光1回）
光度	550,000カンデラ
光達距離	15.0海里（約28km）
高さ（灯高）	26m（平均水面上から灯火まで）

【神戸第一防波堤東灯台】

神戸第一防波堤東灯台は、神戸港（阪神港神戸区）のポートアイランドの西側と和田岬の間に設置されている第一防波堤の東端に建つ白色の灯台で、1931（昭和6）年8月15日に点灯しました。現存する神戸港内の灯台の中では、神戸灯台に次いで二番目に古い灯台になります。

この灯台には『神戸港』と文字が描かれた看板が掲げられています。通常、灯台には文字を書いたり、看板を掲げることは法律で禁止されているため、全国でも例がないめずらしい灯台です。この文字看板は、1964（昭和39）年から2年続きで台風による高潮などによって神戸港や市街が被害を受けていたことを知った女性書道家長浜 洸（ながはま あきら）さんが、港の安全を祈願して製作し神戸市に寄贈したもので、1967（昭和42）年に神戸開港百年記念事業として神戸市が第五管区海上保安本部長の許可を受け、外国航路の船が入出港する（当時）第一航路に面した第一防波堤東灯台に設置されました。

文字看板の大きさは縦1.9m×横1.7mあり、約3km先からでも読むことができます。夜間には灯台の下からライトアップされた『神戸港』の文字が、神戸市街の夜景を背景に際立っています。

標識名称	神戸第一防波堤東灯台
所在地	阪神港神戸区（第一防波堤東端）
点灯年月日	昭和6年8月15日（1931年8月15日）
灯質	単明暗緑光 明6秒暗2秒（緑色が6秒光り、2秒消える）
光度	38カンデラ
光達距離	4.0海里（約7km）
高さ（灯高）	19m（平均水面上から灯火まで）



「神戸第一防波堤東灯台」※

【神戸メリケンパークオリエンタルホテル灯台】

神戸メリケンパークオリエンタルホテル灯台は、2代目の和田岬灯台を模した形状（高さ4.8mに縮小）の灯台で文字通り神戸メリケンパークオリエンタルホテルの14階に設置されています。同灯台は同ホテルの前身である神戸市生田区（現在、中央区）京町にあった（旧）神戸オリエンタルホテル屋上灯台として1964（昭和39）年8月26日に点灯しています。

（旧）神戸オリエンタルホテル屋上灯台は、中突堤から発着する四国・九州・沖縄などの航路の定期旅客船を運航していた関西汽船株式会社によって設置されました。それから30年以上にわたって神戸港に入港する船を安全に誘導していましたが、1995（平成7）年1月17日に発生した阪神淡路大震災によって同ホテルが被災し、同灯台も休止を余儀なくされました。その後、同灯台は既に移設が決まっていた同年7月開業の神戸メリケンパークオリエンタルホテル14階に移設され、新たに神戸メリケンパークオリエンタルホテル灯台として、1995（平成7）年7月7日午後7時7分7秒に被災した神戸の復興の新しいシンボルのひとつとして再点灯されました。

高さ54m（灯高）から10秒毎に交互に発せられる赤色と緑色の光（閃光）は赤色17.5海里（約32km）、緑色18.0海里（約33km）先まで届き、今も神戸港に入港する船を誘導しています。

この灯台の光は、夜になるとハーバーランドやポーアイしおさい公園などからも見えるのでご覧になられた方も多いことでしょう。

標識名称	神戸メリケンパークオリエンタルホテル灯台
所在地	兵庫県神戸市（神戸メリケンパークオリエンタルホテル）
点灯年月日	昭和39年8月26日（1964年8月26日） 平成7年7月7日（1995年7月7日）再点灯
灯質	単閃赤緑互光 毎10秒に赤1閃光、緑1閃光 （10秒毎に赤色と緑色の短い光が交互に1回）
光度	赤色 48,000カンデラ 緑色 51,000カンデラ
光達距離	赤色 17.5海里（約32km） 緑色 18.0海里（約33km）
高さ（灯高）	54m（平均水面上から灯火まで）



「ホテル14階の灯台」※

【神戸港の灯台】

資料提供：第五管区海上保安本部交通部

※印画像提供：第五管区海上保安本部交通部、神戸海上保安部



「灯光を照射する灯台」※

お客様の成果をともに追求し実現する

今回は(株)ヒト・コミュニケーションズ(以下、ヒトコム)関西支社の長谷川様と安藤様にお話を伺いました。ヒトコムは、人材派遣業のイメージが強いですが、実は、事業の約8割が**アウトソーシング**※による様々な営業支援となっています。観光業界で言えば、規制緩和で急速に観光客が戻り、現場が多忙になる中、「人材不足」が大きな課題となっています。コロナ禍での事業縮小や人員削減により、優秀なスタッフを失った事業者なども少なくないと思われます。例えば宿泊施設では、限られた人数で対応に追われて疲弊するというような悪循環が生じたり、空室があるにも関わらず、売り止めを余儀なくされるケースも生まれています。ヒトコムでは単に人材を現場に派遣するだけではなく、さまざまな商品の販売・営業に関わる業務を一括して請け負い、お客様の**課題解決**に貢献しています。

【接客革命】お客様と遠隔リモート接客で！

※アウトソーシング⇒業務の一部を外部に委託すること

人材不足の中、成果を上げているアウトソーシング事業の1つに、リモート接客システム「TimeRep」があります。これは、アバターを通じて対面同様の高いレベルの案内・販売・接客を圧倒的効率で実現するサービスで、既存人員の負担軽減になると同時に「**機会ロス**※の抑止」にも役立っています。主にホテル・小売り店舗・自治体の受付等に導入されており、非接触で効率的な案内を実現しています。例えば、予約のみ対応の店舗を訪れた、一元のお客様を単にお断りするのではなく、リモート接客により対面同様のサービスを提供するという事例もあるそうです。(某旅行会社や携帯ショップ)

また、今後急増する**インバウンド**にも**対応可能な多言語機能も充実**しており、国際空港や公共交通機関、観光案内所などにも導入実績があり、今後の観光現場への普及拡大が見込まれます。

例えば福岡国際空港では、コロナ前の体制に戻すのではなく、「遠隔・リモート接客」を活用し、遠隔職員が複数の拠点を担当することで**生産性が向上**しました。また、伊勢市では市内4カ所の観光案内所にリモート型観光案内端末を設置し、案内所の無人化をすすめると共に、主要観光案内所を対面型観光案内の拠点として強化。**資源の集中と年間500~700万円の予算圧縮**につながっています。

さらに、「TimeRep」は、接客履歴のデータを集約することが可能で、最近重要視されている、データマーケティングの活用にもつながり、業務の効率化だけでなく、売上アップ等に貢献しています。



※機会ロス⇒販売する機会を損失し、本来得られた利益を逃すこと



ヒトコムには、その他にも様々なアウトソーシング先があり、事業者の抱えるそれぞれの課題に対応できるネットワークを持っています。長谷川さん曰く、「まずは話を聞くことからスタート、納得いただけるまでじっくり相談し、**個々に寄り添ったサービス**をご提案したい」とのこと。

アウトソーシングを事業者の皆様が取り入れることで、人的リソースを利益に直結する**コア業務に集中**させられれば売上アップにつながり、生産性の向上も期待できます。また、コア業務を担当できる人材も育てられ、企業の成長にもつながります。まさにそれを実践しているのが「ヒト・コミュニケーションズ」であり、業種を問わず、そのノウハウから学ぶべきポイントがいくつもあると感じました。

DXをすすめて優秀な人材を確保

アウトソーシングを活用し、DX化を進めると省人化・無人化につながりますが、一方で、優秀な人材を確保することも事業者にとっては大きな課題です。当然、雇用の際には給与以外にも保険料など多大な経費が必要で、うまくいかない場合には大きなリスクを伴います。お互いの人柄を見極めるにも時間がかかり、必ずしも満足のいく結果になるとは限りません。そこで、それらのリスクを回避するためにも、まずは**専門分野の派遣人材を登用**してみてもどうでしょうか。スキルだけではなく人間性も重視した人材サービスを提供しているので、うまくマッチングできれば契約を更新するケースも多く、場合によっては正規の採用にもつながることもあるそうです。

急速に変化していく観光業界においても、「良質なデジタル」と「優秀な人材」をバランスよく活用することが、今後ますます必要になっていくと実感しました。

お問い合わせ先 株式会社ヒト・コミュニケーションズ 長谷川・安藤
TEL: 06-6456-1820 URL: <https://hitocom.co.jp/service/>



令和4年度LINK Cafeセミナー

3年ぶりに会員交流の場「LINK Cafe」を開催！

神戸観光局では、多種多様な業界の枠を超えた会員の皆様の学びの場および交流の場を提供することを目的に、「神戸観光LINK café」を3年ぶりにリアル開催しました。令和4年度は、第1回、第2回を「神戸観光の魅力と可能性および課題～「外」から見た神戸、「内」から見た神戸～」のテーマのもと、会員の皆様と神戸観光の今後について考えていきました。第3回は、「インバウンド最前線」～V字回復のために、神戸ができることと神戸観光の可能性～として、インバウンド再開に伴い、今後、我々が準備していくべきことを考えていきました。

第1回(2022年9月9日)

講師：東京カメラ部株式会社 代表取締役 塚崎 秀雄 氏
「神戸の SNS写真の活用の可能性」
株式会社神戸ポートピアホテル 総料理長 岸本 貴彦 氏
「兵庫・神戸の食材の魅力～食を通して伝えるテロワール～」

動画URL：<https://youtu.be/Zf3mbmjL-PQ>



第2回(2022年12月12日)

講師：株式会社JTB 執行役員 北村 豪 氏
「2025大阪・関西万博の現状と神戸観光の可能性」
AQARIUM×ART atoa 館長 中山 寛美 氏
「新感覚の都市型水族館 開業からの取組と今後について」

動画URL：<https://youtu.be/NPZxhKS8o7I>



第3回(2023年2月14日)

講師：WAmazing 株式会社 代表取締役社長 加藤 史子 氏
「急回復中のインバウンド、5兆円超市場の最新動向」
株式会社地域ブランディング研究所 代表取締役社長 吉田 博詞 氏
「神戸における新たな観光誘客の可能性」

各回、ダイジェスト版の動画も作成しています(第3回は3月20日配信予定)ので、ぜひ、ご覧ください。

ひょうご1dayゴルフパーク in 神戸ハーバーランド umie

日本ゴルフ発祥地・神戸、ゴルフを通じた観光誘客をPR！

神戸・兵庫ゴルフツーリズム協議会(神戸観光局)は、「ゴルフのまち」三木市、「国産アイアン発祥地」市川町、神戸ハーバーランド umie、スーパースポーツゼビオ・ヴィクトリアゴルフと共催で、各市町のゴルフを通じた魅力を伝え、ゴルフの楽しさ、面白さに気軽に触れていただける「ひょうご1dayゴルフパーク in 神戸ハーバーランド umie」を実施しました。当日は、神戸ゴルフ大使の竹内美雪プロのレッスンや親子で楽しめるパターコーナー、特別トークショーなど盛りだくさんの内容で、九州などの遠方からお越しの方も含め、多くの方にご参加いただきました。

日時：2023年2月12日(日)

場所：神戸ハーバーランド umie

出演者：竹内美雪プロ、ゴルフピア(HIRO氏、SO氏)、k Crew golf 衣笠氏



神戸観光局からのプレスリリースや最新のお知らせはホームページ (<https://kobe-dmo.jp/news/>) に随時掲載していますので、こちらも是非ご覧いただき、ご活用くださいますよう、よろしくお願いいたします。

- ◆本ニュースレターに関するご意見・ご要望を是非、お聞かせください (kobe-member@kcva.or.jp)
- ◆ご担当者様の変更等がございましたらメールにてご連絡をくださいますよう、お願いいたします。
(お問い合わせ) 経営推進部総務課 TEL：078-230-0800／神戸観光局HP：<https://kobe-dmo.jp>
(本ニュースレター制作) マーケティング担当 TEL：078-262-1631